



安全互助会だより

第5号（平成29年8月8日発行）

一般財団法人北海道高等学校安全互助会
〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目
第二道通ビル
TEL (011) 252-0200 FAX (011) 252-0201
URL <http://www.h-anzen.com/>



安全のための知恵

理事長 新井田 寛

この度、安全互助会の理事長に就任した新井田寛です。皆さんとともに安全互助会の充実のために取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

五月に十勝支部総会に出向いた際に、昨年の豪雨による甚大な被害の状況を聞く機会があり、日頃からの備えや災害時の身の安全の確保の大切さを実感しました。七月初旬の九州北部の豪雨災害を見て、一層その感を強くしたところです。

安全は家庭や学校を含む生活安全、交通安全、災害安全などからとらえることができますが、人間は安全を脅かす様々な事柄に対して知恵を働かせ、適切な対処方法を積み重ねてきました。

交通事故による死者はピーク時には年間一万七千人にも上っていましたが、より安全な自動車の開発や救急体制の整備、安全運転意識の向上により、その数は四分の一にまで低下しました。

東日本大震災による大津波ではとてつもない多くの人々の生命が奪われましたが、「津波てんでんこ」（津波が来たら、各自でてんでんばらばらに高台へと逃げろ。自分の命は自分で守れの意）ということばが人々に浸透していた地域では、多くの人々が難を逃れることができました。これは津波被害を繰り返してきた地域の人々が、作り上げた自らの身を守る知恵の結晶ということもできるでしょう。

さて、振り返って私たちの家庭や学校での安全ではどうでしょうか。安全互助会のこの二年間の災害統計を見てみると、学校や駅で階段を踏み外して転倒したり、小さな段差が原因となった自転車の転倒など注意すれば防ぐことができる事故が少なくないように思います。

入念な準備運動や正しいプレーがスポーツ中の事故を防止することができるのと同様、生活の中では周囲に注意を払い、予想されうる危険を避けるための知恵を持つことが大切です。そうすれば「ながらスマホ」などという新たな危険などは生じないはずで

す。高校生の皆さんの健康と安全、充実した高校生活を期待します。

■ 平成29年度 定時評議員会を開催

6月10日（土）9時30分から定時評議員会が評議員16名中12名が出席し、たきかわ文化センターで開催されました。山本理事長の挨拶、議長及び議事録署名人の選任の後、議事に入りました。概要は次のとおりです。

- ・第1号議案 平成28年度事業報告及び収支決算
共済事業を中心とした事業報告及び収支決算の説明の後、監査報告が行われ、満場一致で承認されました。（詳細はホームページに掲載されています。）
- ・第2号議案 平成29年度事業計画及び収支予算の報告
理事会で決定された今年度の具体的な事業計画と予算について詳しい報告が行われました。地域別会議は7支部で開催されます。



議長は三浦秀紀評議員

- ・第3号議案 評議員の選任
13名の評議員の辞任を了承し、新たに補充する13名を選任しました。任期は平成30年度定時評議

員会終了時までです。

- ・第4号議案 役員（理事・監事）の選任

5名の理事、2名の監事の辞任を了承し、新たに補充する役員を選任しました。任期はいずれも平成30年度定時評議員会終了時までです。

■ 理事会から

第1回理事会（5月13日（土）札幌全日空ホテル）

今年度の共済事業の加入見込状況を報告、高P連支部総会における概要説明の内容について検討するとともに、定時評議員会の議案の確定を行いました。

臨時理事会（6月10日（土）たきかわ文化センター）

定時評議員会終了後、理事の互選により新理事長に新井田寛氏を選任しました。

第2回理事会（7月22日（土）札幌全日空ホテル）

始めに常務理事の選任と業務担当を決定しました。続いて、29年度の事業日程及び助成金交付団体の決定、審査委員の選任を行いました。

理事会終了後、第1回コンプライアンス委員会を開催し、日常的にコンプライアンスを重視した運営に取り組むことが確認されました。

■ 平成28年度共済金の給付状況

28年度の給付の対象には、27年度に発生した災害で治療が継続しているものも加わることから、昨年度よりも給付が多くなりました。

共済金等給付総計	2,874件	49,493,200円
----------	--------	-------------

※ 生徒へ給付した共済金及び香料、PTA会員へ給付した共済金の合計です。幸いにも生徒の学校管理下やPTA管理下における災害での死亡や障害は発生しませんでした。また、PTA会員が活動中の死亡や障害もありませんでした。

○生徒への給付

傷病	2,864件	48,861,200円
----	--------	-------------

※ 安全互助会ではスポーツ振興センターの給付状況に応じて毎月給付するため給付件数は2,864件ですが、実際に発生した災害は2,129件でした。以下、発生状況を分析します。

・場面別

学校管理下の傷病で部活動中1,482件、授業中494件、通学中76件、休憩中76件です。

部活動中では、バスケットボール、野球、サッカーで759件を占めています。スポーツ振興センターの全国統計でも、この3部が最も多くなっています。

部活動の次に多いのは授業中で、そのうち366件は体育の授業中で、球技が多いですが、跳び箱や馬跳びなどでの発生もあります。

通学中のうち47件が自転車運転中です。また、休憩中は運動をしている時のケガが多いですが、階段での転倒なども発生しています。

・傷病別

骨折	597件
捻挫	353件
脱臼	78件
打撲・挫傷	246件
創傷	64件
靭帯損傷・断裂	386件
半月板損傷・断裂	61件
腱損傷・断裂	19件
歯牙破折	28件
その他負傷	40件
疾病	257件

傷病別では、骨折が最も多く、靭帯損傷・断裂、捻挫が続きます。疾病では、運動に起因するものが214件で最も多く、なかでも椎間板ヘルニアなど腰を痛めるケースが多くなっています。

・部位別

足首や膝部を中心に下半身が5割を占めています。上半部は2割、頭頸部は1.5割となっています。

傷病と部位の相関のうち、骨折では手・指が最も多く、ついで足首、鼻の骨折と続きます。靭帯損傷・断

裂や捻挫は足首と膝が大部分で、頭部の打撲も見られます。

歯科補綴	3件	120,000円
------	----	----------

※ 学校やPTA管理下の災害で、保険外診療の歯科補綴が対象です。

特別傷病	1件	2,000円
------	----	--------

※ PTA管理下の傷病で、校内で発生しました。

香料	5件	500,000円
----	----	----------

※ 香料は学校やPTAの管理下でない場合における生徒の死亡に対して10万円を給付する制度です。

○PTAへの給付

P 傷病	1件	10,000円
------	----	---------

※ PTA活動中のPTA会員が被った災害で、学校祭準備中に発生しました。

■ 平成28年度末財務状況

貸借対照表

平成29年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	814,565	10,139,335	△9,324,770
現金預金(普通支払備金分)	1,653,000	699,000	954,000
現金預金(既発生未報告支払備金分)	64,559,531	37,233,950	27,325,581
未収金	0	0	0
前払金	0	0	0
流動資産計	67,027,096	48,072,285	18,954,811
2. 固定資産			0
(1) 基本財産			0
定期預金	0	0	0
基本財産計	0	0	0
(2) 特定資産			0
準備金積立資産	10,000,000	10,000,000	0
責任準備金積立金	6,586,747	3,322,178	3,264,569
退職給付引当資産	320,000	320,000	0
特定資産計	16,906,747	13,642,178	3,264,569
固定資産計	16,906,747	13,642,178	3,264,569
資産合計	83,933,843	61,714,463	22,219,380
II 負債の部			0
1. 流動負債			0
普通支払備金	1,653,000	699,000	954,000
既発生未報告支払備金	64,559,531	37,233,950	27,325,581
未払金	0	0	0
預り金	142,169	125,887	16,282
流動負債計	66,354,700	38,058,837	28,295,863
2. 固定負債			0
準備金	10,000,000	10,000,000	0
責任準備金	6,586,747	3,322,178	3,264,569
退職給付引当金	320,000	320,000	0
固定負債計	16,906,747	13,642,178	3,264,569
負債合計	83,261,447	51,701,015	31,560,432
III 正味財産の部			0
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	672,396	10,013,448	△9,341,052
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	672,396	10,013,448	△9,341,052
負債及び正味財産合計	83,933,843	61,714,463	22,219,380

■ 平成29年度業務計画

この他、常務理事会や偶数月初旬には内部会計定期監査が実施されます。

4月14日	公認会計士監査
4月17日	監事監査
5月13日	第1回理事会
5～6月	高P連支部総会における事業広報
6月2日	文部科学省共済法研修会 安全普及啓発事業（名寄支部）
6月10日	定時評議員会
6月12日	28年度事業報告書提出（道教委へ）
7月10日	全国高等学校安全互助会連絡協議会役員会
7月22日	第2回理事会／①コンプライアンス委員会
8月8日	互助会だより第5号発行
8月10日	役員変更届（道教委へ）
9月5日	地域別会議（釧路支部）
9月6日	地域別会議（根室支部）
9月中旬	審査委員会
9月21日	地域別会議（旭川支部）
9月26日	地域別会議（留萌支部）
10月5日	全国高等学校安全互助会連絡協議会総会
10月上旬	公認会計士監査
10月19日	地域別会議（日高支部）
10月25日	役員研修会／②コンプライアンス委員会
11月7日	地域別会議（胆振支部）
11月14日	地域別会議（後志支部）
11月22日	全国高等学校安全互助会連絡協議会研修会 安全普及啓発事業（道南支部）
12月9日	第3回理事会
1月下旬	「30年度共済事業の手引」発行 互助会だより第6号発行
2月2日	文部科学省共済法研修会
2月22日	第4回理事会
3月中旬	30年度安全普及啓発活動届（道教委へ）
4月上旬	公認会計士監査 監事監査

■ 平成29年度共済事業加入状況（7月末現在）

○加入校 190校

○生徒	・全日制	62,316人
	・定時制	787人
	・専攻科	233人
	生徒計	63,336人
○教職員		3,752人
○子弟が在学していないPTA		82人
	総計	67,170人

※ 加入した生徒・教職員・PTAに、加入生徒の父母の人数を加えると、共済事業の対象となる総数は約181,000人です。

■ 平成29年度収支予算

平成29年度予算

《収入の部》		（単位：円）		
項 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	
会費収入	91,524,600	93,820,000	-2,295,400	
雑収入	1,000	1,000	0	
準備金等戻入額	66,356,468	48,146,960	18,209,508	
収入合計	157,882,068	141,967,960	15,914,108	
《支出の部》				
項 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	
事業費	159,501,667	136,595,168	22,906,499	
共済給付事業費	57,129,415	39,547,729	17,581,686	
準備金等繰入額	83,996,252	81,371,439	2,624,813	
安全普及費	850,000	850,000	0	
広報事業費	3,380,000	3,030,000	350,000	
助成事業費	1,200,000	1,200,000	0	
調査研究費	1,230,000	1,060,000	170,000	
人件費	8,600,000	6,620,000	1,980,000	
需用費	3,116,000	2,916,000	200,000	
雑費	0	0	0	
管理費	5,478,500	5,644,000	-165,500	
人件費	1,746,000	1,800,000	-54,000	
事務費	1,750,000	1,750,000	0	
需用費	1,950,000	1,950,000	0	
雑費	32,500	144,000	-111,500	
当期支出合計	164,980,167	142,239,168	22,740,999	
当期収支差額	-7,098,099	-271,208	-6,826,891	
前期繰越収支差額	8,740,350	9,011,558	-271,208	
次期繰越収支差額	1,642,251	8,740,350	-7,098,099	

事務局から

- ・ 生徒の傷病共済金請求に係る書類の提出にあたっては、個人毎に、請求月毎に、「共済金請求書」「災害報告書」「医療費支払通知書」の3葉をまとめてクリップやホッチキスでとめて送付してください。（必要に応じ「医療費支払通知書」はコピーしてください。）
- ・ 傷病共済金を請求する際に使用する第7号様式に請求該当月を記入する欄ができるなど一部様式が変わりました。本会のホームページからダウンロードして活用して下さい。
<http://www.h-anzen.com/>
- ・ 同一災害の本会への請求が複数回になる場合は、2回目以降は「災害継続報告書」を添付しますが、その災害に関する本会への請求が初めての場合は「災害報告書」を添付してください。
- ・ 「医療費支払通知書」については、これに代え生徒個人の「児童生徒別給付一覧」にすることができます。こちらの方が請求の誤りが少ないようです。
- ・ 誤請求があった場合は、事務局より電話や文書で連絡していますが、「共済事業の手引」の該当部分をご確認ください。よろしくお願いいたします。

保健室からこんにちは！！



学校安全と養護教諭の役割

枝幸高校 養護教諭
十川 光穂

本校は普通科2間口、全校生徒169名の小規模校です。約53%の生徒が運動系の部活動に加入し、全道、全国大会を目指して活動しています。生徒数の減少により、特に団体競技ではチーム編成にも苦労がありますが、数年連続して全道大会に出場している卓球部や陸上部に加え、今年度は、サッカー部の高体連全道大会出場や、開校以来初となる野球部の北北海道大会出場など、生徒や指導者の意欲と熱意、さらに地域からの物心両面にわたる支援に支えられて成果を上げ、小さな学校でもやればできるという自信を全校生徒に与えました。

平成28年度中に本校で日本スポーツ振興センターの災害共済給付を受けた20件のうち、部活動等の課外活動中が19件と、そのほとんどを占めています。部活動中の負傷は骨折や捻挫、靭帯損傷などが多いにも関わらず、町内には整形外科を受診できる医療機関がなく、100km程離れた紋別市、名寄市での診療を必要とするため、通院期間が長期化し、診療費用が高額化しやすくなります。そうした状況で、日本スポーツ振興センターの給付を補う形で安全互助会の給付を受けられることは、生徒、保護者の負担軽減に大きく役立っております。

部活動以外にも、体育の授業や行事、宿泊を伴う行事など、様々な状況で負傷や疾病を未然に防ぎ、事後に適切に対処するための学校安全が求められます。学校が安全でなければ生徒の心身の健全な育成を図り、生命を育む学校教育本来の目標の実現は困難となります。そのため、学校危機管理への事前、発生時、事後対応など、全職員が重大な責務を担っているとの認識が求められます。特に、健康と安全教育を職務とする養護教諭は、日常的に全校生徒の心身の健康状態を的確に把握し、心配のある生徒への注意を怠ることなく、教職員・保護者との協力のもとに常に予防的対応に心がけています。また、緊急時の応急手当や心のケアに加え、負傷した生徒の状態を継続的に把握し、保護者と連携しながら中長期的な支援体制を維持しています。

保健室を訪れる生徒と話をしたり聴いたりしていると、近年の情報化、社会・生活環境の変化が生徒たちの生活習慣や人間環境に影響を与えていることを強く感じます。中でも人と人とのつながりの希薄さ、ストレスや不安感、イライラ感が高まっている状況が広がっています。その成長や変化に驚きながら、健康教育の必要性を強く感じています。

■平成29年度 理事・監事・評議員

・理事

理事長 新井田寛 (道高P連会長・札幌月寒)
常務理事 福井玲子 (道高P連副会長・札幌新川)
常務理事 山本美加 (道高P連副会長・札幌北陵)
常務理事 海東剛哲 (道高P連副会長・留萌)
常務理事 永淵 優 (道高P連副会長・札幌丘珠)
理事 川口 淳 (道校長協会会長・札幌南)
理事 谷坂常年 (道高体連会長・札幌白石)
理事 齋藤淳子 (道高養研副会長・野幌)

※ 常務理事の業務担当

・運営総括担当 新井田寛 理事長
・コンプライアンス担当 海東剛哲 常務理事
・リスク管理担当 永淵 優 常務理事
・内部会計監査担当 福井玲子 常務理事
・理事会等議事録担当 山本美加 常務理事

・監事

植松洋二 (道高P連監事・札幌藻岩)
三浦由貴子 (道高P連監事・遺愛女子)
瀬谷寛嗣 (道高P連監事・札幌国際情報)

・評議員

伊藤公紀 (道高P連石狩支部長・札幌平岸)
渡辺一史 (道高P連道南支部長・函館ラサール)
大田 学 (道高P連後志支部長・岩内)
山木 傑 (道高P連空知支部長・滝川西)
堀江裕樹 (道高P連旭川支部長・旭川永嶺)
高橋秀一 (道高P連留萌支部長・留萌)
大橋直幸 (道高P連名寄支部長・士別翔雲)
山本和浩 (道高P連北見支部長・北見緑陵)
山口 誠 (道高P連十勝支部長・帯広農業)
平井昌弘 (道高P連釧路支部長・釧路東)
富川 歩 (道高P連根室支部長・根室)
伊藤義幸 (道高P連胆振支部長・室蘭清水丘)
三浦秀紀 (道高P連日高支部長・静内)
藤井勝弘 (道高等学校長協会副会長・石狩翔陽)
渡邊周一 (道高等学校教頭副校長会会長・札幌北)
阿部雅一 (道公立学校事務長会会長・札幌工業)

■平成29年度 審査委員会委員

後藤 聡 (北海道医師会常任理事)
青木秀志 (北海道歯科医師会常務理事)
廣瀬之彦 (道高校長協会学校安全小委員会)
齊藤 聡 (岩見沢東高校PTA会長)
山崎千鶴 (札幌稲雲高校PTA会長)